



グリーン・ツーリズム 感動映像コンテスト 優秀賞



都市と農村の共生・対流推進会議
(オーライ!ニッポン会議)



グリーン・ツーリズム 感動映像コンテスト



自分たちでCMを作ろう！



グリーン・ツーリズム感動映像コンテストは、より多くの都市部の人々が気軽にグリーン・ツーリズムを楽しんでみようという動機づけに結び付くような感動的な映像を地域の人々等が自ら制作することを推進するために実施しました。

デジタルカメラや家庭用ビデオカメラで撮影した写真や動画を活用して、パソコンに標準装備されているソフトを使って国内のグリーン・ツーリズムの魅力を30秒の映像で作成していただくものです。

グリーン・ツーリズムとは、日本国内の農山漁村地域を訪れ、豊かな自然や美しい景観、郷土料理や特産品、農林漁業体験、地元の人たちとの交流など、地域ならではの魅力に触れることのできる“旅”のことです。

本コンテストは、今年度が初めての実施でしたが、全国から71件の応募がありました。審査委員会（委員長：丁野朗（社）日本観光協会常務理事）による厳正な審査により、優秀賞3点を決定しました。

作品内容は、①地域の食や自然などの体験プログラムを構築して、グリーン・ツーリズムに一生懸命な地域。②美しい農山漁村の風景と失われつつある日本の農村の生活文化の価値を改めてアピールする作品。③外国人の若者が日本の農村生活を体験するイキイキとした様子を映像にした作品など30秒の中に、思いが詰まった魅力的な作品となっています。全作品を見た審査委員から「全ての地域を訪れたくなった」というコメントに象徴されるように、映像のもつ訴える力の強さを再認識しました。

今後、グリーン・ツーリズムの魅力を積極的に情報発信する手法として、映像は効果的であり、優秀賞を受賞した作品のみならず、応募いただいた全てがグリーン・ツーリズムの魅力を語る作品として、多くの皆さんにご覧いただければ幸いです。



グリーン・ツーリズム 感動映像コンテスト

【審査委員会】

《オーライ!ニッポン会議 企画委員会》

丁野 朗	(社)日本観光振興協会 常務理事 総合研究所所長
菊池 辰弥	(社)全国旅行業協会 経営調査部 部長
井上 弘司	CRC地域再生診療所 所長
加藤 誠	(株)ジェイティービー旅行事業本部 地域交流ビジネス統括部長
鈴木 賀津彦	市民メディアプロデューサー、 東京・中日新聞編集局 読者応答室委員
中尾 謙吉	(株)日本旅行業協会 国内・訪日旅行業務部 担当副部長
中島 康夫	(株)電通クリエイティブ開発センターC1 開発部 シニア・コンサルタント
中村 直美	(株)交通新聞社 第1出版事業部長、旅の手帖編集部長
福井 善朗	(株)ティーゲート ニューツーリズム・コンサルティング部長
安 卓也	(社)全国農協観光協会 地域振興推進部長
梅香家 聡	横浜市民放送局クリエイティブディレクター

【審査の基準】

- ・グリーン・ツーリズムをやったことがない方々に、自分もやってみよう（体験してみよう、農山漁村へ行ってみよう）！と思わせる作品を評価基準とします。
 - ・例えば、グリーン・ツーリズムや農山漁村の魅力を効果的に表現しているか。
 - ・グリーン・ツーリズムの体験等の内容がわかりやすく表現できているか。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります。
 - ・CM制作に関する専門的技法、技術だけを競うものではないことをご承知おきください。ご応募いただいた案件については、学識経験者や旅行事業者、マスコミ、企画広告会社、映像制作者等で構成する選定委員会において、
 1. グリーン・ツーリズムの魅力が効果的に表現されているか。
 2. グリーン・ツーリズムや農山漁村の切り口がユニーク、オリジナリティーがある。
 3. 表現技術が優れているか、作品としての完成度が高いか。
 4. 当該地域の理解と共感をよぶか。生活文化に寄与しているか。
- その他、時代性があるか。消費者に訴える魅力があるか等。
また、虚偽・誇大（著作権侵害等）などのおそれはないかを総合的に考慮し、厳正なる審査を行った。

グリーン・ツーリズム 感動映像コンテスト 優 秀 賞

★青森県七戸町 七戸町かだれ田舎体験協議会
【いろんな笑顔の集まる町・しちのへ 方言版】



★秋田県秋田市 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会 高橋桂子
【ぼくは小さな棚田オーナー】



★大分県豊後高田市 豊後高田市グリーン・ツーリズム推進協議会
【THE REAL JAPAN IS HERE!】



「いろんな笑顔の集まる町・しごのへ」(青森県七戸町) 七戸町かだれ田舎体験協議会

●本映像作成のねらい(思い)

この作品は、グリーンツーリズムというものを含めて七戸町という場所を知ってもらいたいと思い制作しました。当協議会を利用して下さるお客様や、地元の農家さんは自然と笑顔がこぼれます。その楽しそうな雰囲気映像を通して感じ取って貰えたらと思い編集を心がけました。そして楽しそうな子供の声を別な映像から引っ張り出し、適した映像に乗せるなど、音にも工夫して作るようにしました。



●どのような映像を作成したのかミニ解説

前半部分は参加者や受け入れ農家さんの楽しそうな表情や子供の茶目っ気のある映像を載せることで、グリーンツーリズムの楽しさを紹介しています。後半は、当協議会及び七戸町の情報(地理的な情報やアクセス、体験数)を紹介しています。一貫していることは制作する上でテンポを重視するように心掛けました。1カットを必要最小限の長さにし、音楽も有料著作権フリー音源販売サイトから数千にも及ぶ音源から吟味して決めました。テンポが生まれることで見ている人にも飽きさせず、映像を見て興味を持ってもらい、ホームページへ誘導し詳しい情報を知って貰えたらと作りました。映像素材自体は、以前から記録として撮り貯めていた映像ばかりです。ナレーションに関しては、地元で活動している役者さんをお願いしました。青森県の方言を使うことで、青森県出身者には懐かしさを、青森に縁のない方には方言の暖かさを感じ取って欲しいと思い方言を取り入れました。

●今回受賞をして喜びの言葉、今後どのように展開をしたいか等の抱負

私自身コンテストに映像を出品したのは初めてのことでまさか優秀賞に選んで戴けるとは思ってもなく光栄に思います。今後は体験メニュー毎に映像を編集し、動画サイトに載せることで、今まで縁の無かった方にもグリーンツーリズムに興味を持ってもらえるきっかけ作りとして映像を利用していきたいと思っております。ただ撮った映像をそのまま載せるのではなく、見てもらう人に興味を持ってもらえる映像を制作し、PRしていきたいと考えています。

【七戸町かだれ田舎体験協議会(役場農林課)】

TEL0176-68-2116

E-mail: kadare.masu.zigo@gmail.com

<http://www.kadaretenma.com/index.html>



「ぼくは、小さな棚田オーナー！」(秋田県秋田市)



秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会 高橋桂子

●本映像作成のねらい(思い)

・実際に横手市大森町で取り組んでいる、地域資源の保全や地域活性化を狙いとした「棚田オーナー制度」を、もっとたくさんの方に知って欲しかった。また、オーナーの視点から感動を伝えることで、見る人により一層、興味・関心をもってもらえるのでは？との思いで作成した。来年度以降も実施予定のイベントなので、映像を見て参加者が増加することを期待したい。



●どのような映像を作成したのかミニ解説

・横手市大森町の塚須沢集落では、集落12戸が総出で13ヘクタールの棚田を守り継いでいる。しかし、農業を担う人々の多くは60代以上で、過疎・高齢化という問題に直面している。そこで「棚田オーナー制度」を導入したところ、棚田の保全に繋がり、また、集落の住民と外部の人との交流がイベントを重ねて育まれるようになった。映像は、オーナーである小さな男の子の目線から棚田での出来事やイベントを通して感じた気持ちを伝えるように作った。美しい棚田で育まれた交流は、オーナーたちに「また参加したい」という気持ちを起こさせ、それが住民にとってはやる気に繋がっている。この温かい交流を多くの人に見てもらいたかった。

●今回受賞をして喜びの言葉、今後どのように展開をしたいか等の抱負

私自身も「棚田オーナー制度」のオーナーです。映像を通して、私たちオーナーが感じている感謝の気持ちを、集落の皆さんに伝えられたこと、そしてこのような形で評価していただき、たくさんの方に秋田県のグリーン・ツーリズムに注目していただけたことをとても嬉しく思います。今回の塚須沢集落の棚田はもちろん、他の地域においても、秋田は美しい自然やグリーン・ツーリズムに取り組む魅力的な人で溢れています。これまでは写真やホームページ・ブログでの記事による情報発信が中心でしたが、今後は、よりリアルさを伝えられる映像での発信にも挑戦したいです。

【秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会】 現地特派員高橋 桂子
TEL & FAX : 018-829-5895
E-mail : tokuhain-tk@akita-gt.org
<http://www.akita-gt.org>

【THE REAL JAPAN IS HERE!】(大分県豊後高田市)



豊後高田市グリーン・ツーリズム推進協議会

●本映像作成のねらい(思い)

・日本を訪れる外国人の方々に対して、私たちが住む農山漁村地域ならではの資源を最大限に活用した様々な体験で、一歩踏み込んだ素朴でディープな日本の素顔を感じてほしいという願いを込めて映像を作成しました。この映像を全世界に発信することで、諸外国からたくさんの方々に来ていただきたいと思えます。



●どのような映像を作成したのかミニ解説

- ・大分県豊後高田市は、人口2万4千人の海と山に囲まれた自然豊かな地域で、白ネギ・そばを代表とした農業及び岬ガザミをはじめとした多彩な魚介類が水揚げされている地域です。
- ・わが地域には、日本の素晴らしい農村風景を色濃く残す「田染荘」をはじめ、独自の仏教文化が栄えた「六郷満山仏教文化」、和太鼓・神楽・歌舞伎といった「日本古来の伝統文化」やそば打ちに代表される「日本の食文化」に至るまで、様々な「日本文化の姿」が息づく地域です。これらの地域資源を活用した日本文化体験とごく普通の日本的な家に農泊することにより、既存の観光地とは一味違った魅力ある国際交流が提供できると思い、その様子を映像でみなさんに伝えたい。
- ・農山漁村地域でしか提供できない日本の素朴な姿に触れた瞬間のいきいきとした表情を映像にし、それを全世界にPRしたかった。

・今回受賞をして喜びの言葉、今後どのように展開をしたいか等の抱負

今回の受賞をバネにこれからもどんどんグリーン・ツーリズムのCMを作成し、地域資源を活用したすばらしい体験交流を積極的にPRしていきたい。

【豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会(市役所農林振興課内)】

TEL : 0978-22-3100 FAX : 0978-24-0250

<http://bungotakada-gt.com/>

E-mail : bungotakadagt@gmail.com



オーライ！ニッポン会議 事務局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45神田金子ビル

(財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)内

TEL:03-4335-1985

FAX:03-5256-5211

E-mail:info@ohrai.jp

<http://www.ohrai.jp/>

